

天野八幡宮 岡山県神社庁 神社検索システム

由緒

当社は平治元（1159）年に山城国男山八幡宮の分霊を勧請したと伝えられる。かつては、単に八幡宮と称し、社領7斗3升を受けていた。大正10年3月に奥田字天神にあった村社天野神社（注）を合祀し、天野八幡宮と改号したうえ遷座した。

社殿は昭和2年に火災で全焼、昭和4年に再建されたものの同26年に氏子により復興された。

境内末社に若宮・稲荷神社・荒神宮・弁天社・祖霊社などがある。

さて、天野八幡宮の南鳥居（石造）に向かって左の柱には南無妙法蓮華経の題目を刻んだのが僅かに残っている。これについて「八幡宮の神体は八幡大菩薩の木像にして青江妙泉寺あった大覚大僧正の手彫りのものが、同寺廃絶の際、この八幡宮に遷して祀り、併せて同社南鳥居には南無妙法蓮華経の題目を刻み込む。その後、明治初頭に神仏分離の官命によりこれを削り落とそうとしていたが、石工が途中で腹痛を起こし、以来これに手をつけず、現に半ば削り落とされたものが現存する。」と社伝にある。



注：天野神社の縁起

天承元（1131）年に三門に鎮座していた天神社を奥内村（現在の奥田）に移転した。建長2（1250）年までは天神社と称していたが、当時、鹿田天神社と改号し、鹿田荘12ヶ村の総鎮守となった。

その後、各村が氏神を新たに勧請したことにより、氏子地域は半分になり、延宝4（1676）年に天野神社に改められた。

【令和3年10月1日 宮司からの依頼により由緒追記】

[前の写真へ次](#)

基本情報

神社コード 01042

神社名 天野八幡宮（アマノハチマンガウ）

通称名 八幡さま

旧社格 村社

鎮座地 〒700-0941 岡山市北区青江170

電話番号

FAX番号

駐車場 有 10台

御祭神 高皇産靈神、神皇産靈神、若日女神、仲哀天皇、応神天皇

